

令和3年度 藤棚地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

西区の中でも高齢化率が高い地域。ひとり暮らしの高齢者人口も多い。山坂や階段が多い地域である為、外出に困難を感じている高齢者が多く、居場所づくりや生きがいがづくりが課題となっている。また、高齢化がすすむ地域を活性化する方法の一つとして、お世話する側、される側、障害、こどもの垣根のない『ごちゃまぜ共生社会』を発展させていく。
 コロナ禍でも繋がりが継続できる環境づくりを行う。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|-------------------------------------|--------------------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケアプラザ館内のWi-Fi環境を整え、地域の方に活用していただきます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ケアプラザ館内のWi-Fiを活用し、オンライン体験会等を企画することで、新たなつながりのあり方を検討します。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ・『地域住民による認知症予防活動の会の交流会』に参加し有効的で具体的な活動内容の提案をしメンバーのスキルアップと連続講座を開催することにより、地域の認知症予防の意識を高めていく。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | より身近な地域で介護予防を実施できるよう、藤棚エリアで人材育成研修を行います。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | JAGESの結果より高齢者口腔機能低下割合が多いため、地域住民、地域のケアマネジャー向けにオールフレイル研修を行います。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

■ケアプラザ館内のWi-Fi環境を整えました。活用申し出の際は案内を行いました。
 企業と連携してスマホ講座を実施しました。3密を避ける工夫をし藤棚まつりを実施しました。コロナ禍でも繋がりが継続できる環境づくりに取り組みました。
 ■地域のケアマネジャーを対象に西区内4包括主任ケアマネジャー共催にてオールフレイルの研修会を実施しました。
 ■身近な地域で介護予防の実施が出来るように区と共に市民向けにひざちゃん講座やICTの講座の支援をしました。
 ■地域の方向けに広く、スマホ講座を年4回開催しました。
 また、オンラインでの会議に関心の高い団体様へ支援を行ったことで、コロナ禍でも出来る会議やコロナ禍だからこそ出来たつながりを実現することが出来ました。
 ■「認知症の発症を遅らせること」を目的とした、有志の地域の方からなる出張講師ボランティア団体を支援しました。
 今年度は連続的に、介護予防講座や地域の教室でグループが主体的に講座の内容等を考えて実施が出来るよう支援しました。

区からのコメント

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止等に留意しながらの地域ケアプラザ運営にご尽力いただき、ありがとうございます。
 昨年度より一層計画的な事業執行が難しい一年でしたが、6職種で連携を図りながら、社会状況などに合わせた柔軟な発想で、実施方法を模索しながら様々な事業を展開することで、着実に成果を積み上げています。
 また、スマホ講座の開催やICTを活用した活動の後方支援など「新たな生活様式」を取り入れた取組を積極的に進めることで、団体の活動の継続や新たな地域ケアプラザ利用者を確保する機会をつくるほか、地域の支援者や活動団体等と「顔の見える関係」を大切にしながら、必要に応じて相談対応や助言を行うことで、地域支援にも大きく寄与しています。
 今後も地域の身近な拠点として、多世代が交流する機会づくりなど「地域共生社会」の実現に向けた取組の推進に期待します。